

1. 所属連盟・名前：クラブ連盟 大西 里実
2. 大会・研修会名：近畿クラブバスケットボール選手権大会
3. 日程および会場：平成 28 年 1 月 30 日（土）～31 日（日）  
ハンナリーズアリーナ・京都市市民スポーツ会館
4. 講 師：芳賀 聡、加藤 昌樹
5. 研修会のテーマ：日本協会「平成 27 年度 指導重点項目」  
公平性を伴う判定の一貫性、技術の理解とゲーム運営など

6. 内容（講義・討論・実技など項目別に、できるだけ詳細に）

講義 1. 芳賀 聡氏

- ①審判活動を充実させるために
  - ・仕事は充実していますか。
  - ・家族や同僚の理解はありますか。
  - ・ワーク・ライフ・バランスからワーク・ライフ・シナジーへ。→コートに立つ前の努力、コートに立つ前に結果は出ている。  
生活の中でどれだけ審判活動に時間をとれるか。  
仕事も審判もバランスが大切。
- ②審判としての夢や目標
  - ・皆さんの夢や目標を教えてください。→近い将来の『目標』。目標の先に『夢』がある。  
夢を叶えるための道のりを逆算することが大切。
- ③夢や目標の実現に向けて
  - ・皆さんが実現に向けて取り組んでいることを教えてください。
  - ・今（若いうち）だからこそできること。
  - ・チャンスを逃さずに！選択と集中！→生活の中で優先順位をしっかりとつけること。  
審判活動の中でも優先順位をつけること。  
夢を実現するために1つずつ整理することが大切。
- ④最後に
  - ・審判活動は人生の縮図。
  - ・どうせやるなら楽しんでやりましょう。
  - ・審判活動を通して、自己実現を目指してください。
  - ・今日の失敗は忘れてください。
  - ・明日は今の皆さんができることに全力でトライしてください。

## 講義 2. 加藤 昌樹氏

### ① 審判員の中でお手本となるように

- ・ 審判のライセンスはあくまで審判の世界だけの資格
- 審判の前にまずは人間性が必要である。
- ・ オンとオフの使い分け
- 精神的な部分が大きな部分を占める
- 2度同じことを失敗しないようにすることが大切

### ② 生活環境の調整が審判活動に必要。

- ・ 環境と精神
- ・ 審判の前に人であれ
- ・ 仲間作りが必要

### ③ 初日の全体実技の感想

- ・ ブロックのレベルが高いことに感謝すること。
- ・ 審判が無駄な時間を使わない。
- 処置の訂正、レポートイング、ローテーションなど。
- ・ マニュアルの理解、ルールに精通
- ・ 説明を求められたことに対してきちんと説明できる準備。
- ・ 見ている人がわかる処置、シグナル

## 実技 1. 講師：芳賀 聡氏

リードのとき、ハイポストからのドライブに対する位置取りの工夫  
トレイルのとき、少しポジションが高いときがある

本戦 男子 1 回戦 尚徳クラブ（京都）－Safari（奈良）

主審：久保（大阪） 副審：大西

## 実技 2. 講師：伊藤 亮介氏

1 試合通して、2 人の審判の判定の一貫性  
ゲーム中の修正する力を付けること  
ゲーム運営をスムーズに行うために説明する必要があるのか

本戦 男子準決勝 FANTASISTA（大阪）－BUBBLES（兵庫）

主審：大西 副審：高畑（奈良）

## 7. 所感（刺激を受けたこと・滋賀県の審判に伝えたいことなど）

- ・ 自分の課題を常に意識し、毎試合チャレンジする気持ちで取り組むことが必要。
- ・ ルール、マニュアルに対してもっと精通することが大切。
- ・ 違うカテゴリーのゲームを積極的に審判する。